

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふうせん(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年1月29日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年1月29日		～ 令和7年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備などが整っており、生活空間が子どもの活動に合わせた空間となっている	個別療育時子供に応じて場所を変えたりしている。 小集団でできる活動を取り入れたり製作を取り入れている。	クールダウンの場所、一人になれる静かな場所作り心掛ける。
2	モニタリング支援計画の見直しがされている。子どもの状況に応じて個別活動・集団活動が適宜組み合わせられている。	個別活動・小集団でも活動療育を充実していきたい。	個別活動時パーテーションや仕切りなどを設けて行っていける形にする。
3	子どもや保護者からの相談対応の体制整備を行っており、申し入れがあった際は迅速に対応している。	送迎時や、受け渡しなどの時に家庭の状況なども良く聞けるようにしていく。	保護者会や保護者と子どもと一緒にできる活動を取り入れていく。保護者参観日を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域と子供たちの交流が少ない。	交流が持てるイベントの参加や事業所での行事が少ないため	戸外活動を通じて地域の子どもの触れ合いを増やしていきたい、地域の行事などにも参加出来ればいい。
2	職員間での会議が思うようにできていない。	児童発達支援に入るため、職員全員参加が難しい。	4月から支援時間の見直しをする予定で会議の時間を設定していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふうせん

公表日 令和7年3月14日

利用児童数

9名

令和7年2月19日

回収数 7件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				門が小さな子でも開けやすく、車の通りもあるので飛び出しが心配です。	現在建設会社へ變更を対応中です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	2		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1		2		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		インスタなどでその日の活動内容などが見れたりすると良いと思います。	現状ホームページのみでの活動報告となっておりますが、他SNSの利用等個人情報等に配慮する観点も踏まえ、検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	2		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		1	今のところケガなどして帰ってきたことが無い
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ふうせん

公表日 令和7年3月14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	・コーナーを作って上手に使うなど、スペースや個々を大切にしながら指導されていると思います。	・運動したい子が思うように運動できない時がある ・クールダウン、一人になれる安全で静かに過ごせる部屋が近くにあるといい ・定員いっぱいだと小さい子とよく動く子が一緒にいる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4	・小集団で活動の場合は机を繋げる。 個別活動の時は机をそれぞれに分けて行う	・職員が子供の問題に対し、対応しきれていない事がある。 ・長期休みや土曜祝日は少ないと感じてしまうときもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・床にテープで線を作っている ・みんな同じ遊びをするわけではないため、部屋をテーブルなどで仕切り、ブロックとボール遊びなどと仕切る工夫をしている ・ボードにスケジュールの提示。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・児童の中には唾液の付着や失禁などがあるため、部屋アルコール消毒をしている。	・食事が終わった後、手を洗う習慣をつけた方が施設内の玩具なども清潔状態が少しは保てる気がします。 ・整理整頓ができておらず、玩具の取り出しが難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4		・病棟時に支援室以外でクールダウンを行っていても、活動の流れで継続して同じ部屋でクールダウンが行えなくなることがある。 ・病棟時など、食堂へ移動するがイスや机など危険なものがあり、排除するのに時間がかかってしまう。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	5		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		・保護者向け評価は匿名にしてもなかなか本音が出ないと思うので、日々の職員との信頼関係が重要だと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3		・教室ごとに会議があるのでそこで意見交換が合っているのだろうと推測しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	・詳しく計画してあると思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	2	・職員個々に聞き取りを行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		・担当者会議があった後に報告の会議はあるが、個別支援計画の会議はない
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2	・クラスだより。	・職員間の共通理解は、不足していると感じます。頭でわかっていても、自分の感情が先に立ち、支援の仕方が共有できていないと思う場面があります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	6		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3	児童の状態に合わせた体力面や学習面の活動を取り入れている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	1か月ごとに活動予定表を作っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	・良く工夫されていると思います。	・個別で課題ができる場所みたいなものがあるとさらにいいと思う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	・朝礼の後、話し合われているようです。	・活動は決まるが、役割分担まではいかない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3		・都度、情報の共有が必要。 ・毎日時間を取って振り返りを行っていない。 ・送迎場所によって帰ってくる時間にばらつきがあるため、揃わない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	6		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3		
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		・児童館や公園など行き交流の機会を持つ
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		・療職や他者が行われた時には送迎時保護者に報告を行っている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3		・イベントを設け、保護者同士のつながる機会を作っている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		・保護者の気持ちをよく聞こうとする職員の様子をよく見ます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2		・ラインなど
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	5	5		・Halloweenの時期に、地域の方の準備してくださったお菓子を頂きにいったと聞きました。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2		・定期的に訓練が行われる
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	2		・利用開始に合わせ、児童の状況など全員に会議の中で報告される
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			・食事やおやつ提供の際は指示書の確認を行う ・食べられない物、注意点などを食堂に貼り、気を付けています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	4		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	4		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		